

会 議 議 事 録

1 会議名	平成18年度 第1回長岡市中心市街地構造改革会議
2 開催日時	平成18年11月9日(木) 午後7時～午後8時45分
3 開催場所	ながおか市民センター 202・203会議室
4 出席者名	(委員) 田村座長、中出副座長、猪俣委員、小川委員、北村委員、 佐藤(愛)委員、佐藤(昭)委員、高野委員、樋口委員、 平井委員、平石委員、藤井委員 (事務局) 磯田都市整備部長、中野まちなか活性課長、 渡辺まちなか活性課長補佐、坂田まちなか活性課長補佐、 蕪沢再開発係長、伊津拠点係長、吉田主任、多田主任、 早川主任、小林主事、 田口行政管理課長、金子商業振興課長、堀交通政策課長
5 欠席者名	今井委員、藻谷委員、北沢アドバイザー
6 議題	(1) 開催の趣旨・目的について (2) 中心市街地構造改革事業の進捗状況について (3) 行政機能再配置検討市民委員会中間報告について (4) 意見交換
7 審議結果の概要	○ 開催の趣旨や目的について確認。 ・将来の長岡を考え、市民の合意を得ながらいかに構造改革事業を進めるかについて意見交換する場。 ・都市再生整備計画の進捗管理、事業評価及び事後評価。 ・行政機能再配置検討市民検討委員会の中間報告に対し、まちづくりの観点からみた市役所の位置はどこがいいのかを投げかける。 ○ 現状を踏まえた意見交換。 【全体的意見】 ・魅力的で賑わいのあるまちづくりという観点で、中心市街地問題は商業だけでなく、まち全体として考える必要がある。 ・今がラストチャンスで、市民の合意を得ながら進めることが必要。 ・現状のことだけでなく将来に向けて議論することが大事。 【市役所移転に関する意見】 ・提言の「都市機能のまちなか回帰」に非常に貢献できる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民を喚起させる起爆剤として賛成。 ・「市民に開かれた」「市民との協働」がキーワード。 ・今の市役所の方が便利という声も聞く。 <p>【合併、地震に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市の中心市街地が活性化しないと、同じ問題をかかえている合併市町村の中心市街地も活性化しない。 ・震災復興という点でも中心市街地が中山間地の後押しになり、両輪となってまちが賑わうことが大事。 <p>○ 次回の会議について確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月28日（火曜日）午後6時半から。 ・行政機能再配置検討市民検討委員会の座長である豊口先生をお呼びし、その話をもとに議論する。
8 審議の内容	
都市整備部長挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年3月に「長岡市中心市街地構造改革会議」から提言いただいた先導的事業は、平成18年3月に「都市再生整備計画」として国の採択を受け、本年度からまちづくり交付金を活用し具体的に事業を推進している。 ・合併後の新長岡市における行政機能の適正配置について検討を行っている「長岡市行政機能再配置検討市民委員会」から「市役所本庁舎は、誰もが利用しやすい中心市街地への配置が望ましく、配置パターン（どの場所に・どの程度の機能）については、まちづくりの観点から検討が必要である。」との中間報告をいただいた。 ・事業を進めるための助言や都市再生整備計画の年度ごとの進捗管理、事業評価及び事後評価をお願いしたい。
座長挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街の活性化のために中心市街地活性化を進めるのではないことを念頭に検討していただきたい。
副座長挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・提言が出てから2年半が経ち地震や合併で社会経済環境も変化した。一方で時代の流れがコンパクトシティ等の方向に動き提言が少しずつ実現している。これらを踏まえ今後まちなかをどうやって良くしていくか考えていきたい。
(1)開催の趣旨・目的について説明	<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備部長が、資料1に基づき説明
(2)中心市街地構造改革事業の進捗状況について説明	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか活性課長が、資料2・3に基づき説明
(3)行政機能再配置検討市民委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・副座長が、資料4に基づき説明 ・構造改革会議メンバーのうち4人が行政機能再配置検討市民委員

<p>中間報告について</p> <p>委員</p>	<p>会に参加しているので代表して全体の概要を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討市民委員会としての結論は資料表紙のとおり。 ・ 今後市役所というシンボル、多数の職員がまちなかに来るとどんな需要があるのかを踏まえて考える。 ・ 強調したいのは、提言の「都市機能のまちなか回帰」に市役所移転は非常に貢献できるということ。 ・ 構造改革会議では、この結論を受けて何かを決定をするというより、まちづくりの観点からみた市役所の位置はどこがいいかをむしる投げかける、整理していく場だと思う。 ・ 市役所が配置される時には、市民とどう関わるのか徹底的な議論が必要。
<p>(4)意見交換</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ お店にお客さんが戻ってきた。若い商売人は「もっと人が来ないかな」を合言葉に色々なアクションを起こしている。 ・ 中心市街地問題は商業だけではなくまち全体としてやらなければならない。 ・ 合併により分散されたコアがある中で、長岡の中心市街地はさらに重要になった。 ・ 国の方針により今まで打てなかった方策が打てる時期になった。今市民の合意を得ながらきちんと進めていくことが大事。 ・ 長岡市の中心市街地が活性化しないと同じ問題をかかえている合併市町村の中心市街地も活性化しない。 ・ 中心市街地活性化はやはり歩く人に優しいまち。できる限り公共交通機関を使わせて車を入らせない等、夢を持たせるぐらいの案が必要。その意味で起爆剤として新庁舎を中心市街地に持ってくるのは賛成。 ・ 私の周囲では次のような声がある。①耐震性に関して「修繕して使えるものを潰す必要があるのか」等。②分散配置に関して「現在分散しているものを、市の中心に集める必要はあるのか。分散する駐車場から新市役所まで歩くのは困る。現市役所はバスで行ける場所なので良い」等。 ・ 守るものは守り、つくるものはつくるのが重要。駐車場に関する意見で「現庁舎はドア to ドアでよい」ことはよくわかるが、これからは現在のことでなく、「市民との協働」などまちづくりの観点から長岡の将来を議論することが大事。 ・ バスで市役所に行けない人もいる。住んでいる場所による。意見を言っている方はどこに住んでいるのか。 ・ ほぼ旧長岡市内で循環バス周辺とは限らない。駅にまず来て乗り換

委員	<p>えで市役所に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市役所に行くのに、わざわざ駅で乗り換えるのが大変」ということが議論になっていると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 確かにそうだが本当に足が悪いと歩けない。自分で歩いたり運転できない人は市役所を利用せず別の人に頼む。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 再配置検討市民委員会の際は「中心市街地ならばバスで乗り換えがなくて良いが、車の利用も考え駐車を何とかしてほしい。」との意見があった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 提言がいくつか着手され素晴らしい。中心市街地活性化はもう後がなくこれがラストチャンスだ。 魅力的で賑わいのあるまちづくりという観点で、中心市街地全体の活性化を考えたい。 市商連で市に対し「是非中心部に行政機能を持ってきてほしい。具体的には厚生会館地区にお願いしたい」との要望書を上げた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 活性化を考える時にハードだけでなく「情報」が大事だ。 まちなかを活性化、ハレの場にするためのアイデア出しをやるのが構造改革会議。現在のことだけでなく将来の長岡を考えている。 この会議の位置づけをもっと明確にすべきではないか。今後この会議がどう進んでいくのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 昼間は年配、夜は若者が今のまちなか。両者がうまく融合して楽しめるまちにしたい。市役所がまちなかに来たら賑わいも出てよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 3つ問題がある。①「新市の中心市街地のイメージをどう考えるか」寺泊や和島から見た長岡の中心市街地はイメージが沸かない。今回はここまでの議論がなかったので整理する必要がある。②「高齢者問題」寺泊や小国の高齢者がここまでくるのか。③「震災復興」中心市街地が中山間地の後押しにならないといけない。両輪となってまちが賑わうことが大事。
委員	<ul style="list-style-type: none"> この会議の趣旨だと進捗管理をうまくやり、最後に事後評価をするところがある。だがこれだと何だか物足りない。本来もっと別のところや突っ込んだところをやるべきではないか。例えば、中心市街地活性化基本計画の見直しは今後出てくるわけだが、そことの関連等。今後の動きが見えない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 当初の構造改革会議では「賑わいを創出しみんなが集まるために平成の公会堂を創ろう。その時、まちなか型公共サービスの概念が重要であり、いろいろなメニューをいかに連携をとりながら実現するかが大事だ」とした。 賑やかさを戻すために、市役所を持つてくるといえばそうではないと思う。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「市民に開かれた市役所」をキーワードに造形大の学生と市役所プロジェクトをやっている。例えば、実験的な市民センターがうまくいくのであれば、今までにない新しい形態の市役所が日本で初めて長岡で出来るのではないかという夢を語り合った。 ・ また「アクセスのしやすさ、行きやすさ、近づきやすさ」も大事。情報のネットワークも含めこのようなまちが出来た時には、ちょっと離れていてもいいのではないか。ユニバーサルデザインの考えが重要だ。
都市整備部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所問題は、まちなか型公共サービスの1つとしてやれると思っていたが、そこだけで議論されると現実にするのは難しい。また「ハレの場」の話も実際はなかなかわかってもらえない。 ・ これから5年間で都市再生整備計画をやる時に「具体的な課題をどういう風にどういう考えで1つ1つ市民の方にわかっただき納得の中で事業を進められるのか」は非常に困難だと思う。 ・ 中心市街地活性化法の新しい認定計画を来年度策定したいと思っているが、協議会等の仕組みづくりとこの会議の関連はこれから整理してお話ししたい。やはり中心市街地全体について考える組織はこの会議をベースにして整理したい。 ・ これからの長岡をどうすべきか。その中で中心部がどうあるべきかという議論をやっていたきたい。 ・ 進捗管理等も願うが大所高所からのご意見をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催趣旨について。何かをつくりあげるために会がなくてもよいが、ご意見番ではある必要がある。プロの目だけでなく市民の目も必要でありこの会があるのだと思う。 ・ やはり、大事なのは将来の長岡をどうするかをまず議論すること。現実にするためにどうブレイクダウンしていくかについて多彩な意見が出てくるような仕組みを作ればよいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「開かれた行政」や「市民との協働」という観点で、造形大の豊口先生はいろいろなご意見を強く持っておられる。もし可能であれば、この会議で豊口先生のご意見も聞いてみたいが可能か。
まちなか活性課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ みなさんの意向であれば事務局として正式にお話をしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな意見を集約できればいいなと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所移転で話題になっているので、例えば市民の方から直接ご意見を聞くのもいいと思う。
都市整備部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の皆さんのご希望であればそのように動きたい。
まちなか活性課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意見については現在集約中である。総合計画の地域別懇談会の中でいろいろな意見があった。概ね再配置についてはご理解を得られていると考えているが、中には不安に思われている点や検討すべ

<p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>都市整備部長</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>まちなか活性課長</p>	<p>きではないかということも出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①駐車場の問題。「足りない。新たに設置するなら料金を考慮してほしい。交通渋滞ができるのでは。」等。 ・ ②コストの問題。「このご時世に本当にお金をかけるべきか。」 ・ ③「まちづくりの観点で考えるべき。」という意見。「庁舎移転で本当に活性化ができるのか疑問。将来を考えた議論をしでほしい」等。 ・ ④「わかりやすい市民サービスが必要、今後の合併も考えた庁舎スペースや配置パターンを議論したほうがいい。」等。 <ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し整理した上でできれば次回示したい。 ・ 次は市民の方から意見を出してもらい、加えて豊口先生にお越しいただく。このようなことで事務局対応をお願いしたい。 ・ その市民意見は合併市民全部ということか。それならばOK。 ・ これだけ大勢の委員が限られた時間で発言するために、次回からはもう少し時間の余裕をもって資料を送付していただき、読み込んだ上で発言したいと思う。 ・ その意味で次回は豊口さんだけにしておいて、その次に市民意見を聞くのがいいのではないか。豊口さんに話をしてもらい、それを元に議論するだけでも十分。 ・ 豊口先生の日程もあるので、座長、副座長と最終的には相談させていただきたい。 ・ 最初の方は、時間も短いサイクルで長めにやったほうがいいのではないか。 ・ もう少し開始時間を早めるのはいいかもしれない。 ・ 次回は11月28日（火曜日）午後6時半より開催したい。会場は追ってご連絡する。資料も早めに送付したい。
<p>(出席委員の署名欄)</p> <p>本議事録については各委員の書名・押印が不要なものとする。</p>	
<p>9 会議資料 別添のとおり</p>	